

第4章 地域別の取組

1 目的

第3章では、環境像を実現するための取組を、主体別(市民、事業者、市)に整理しました。環境像を実現するには、こうした一人一人が環境に関する取組を広く進めていくことに加えて、私たちが暮らす地域の特性(固有の自然や歴史・文化、人材など)や課題を踏まえ、地域の環境を守り、より良いものにしていくための取組を地域単位で集中的に進めていくことも重要です。

そこで、地域別の取組では、環境像の実現に向けて、特色のある4地域(園部、八木、日吉、美山)の特性や課題を市民アンケートや地域別ワークショップ、ご意見・アイデアシートの結果などから整理するとともに、それぞれの地域の環境を守り、より良いものにしていくためのアイデアを示します。

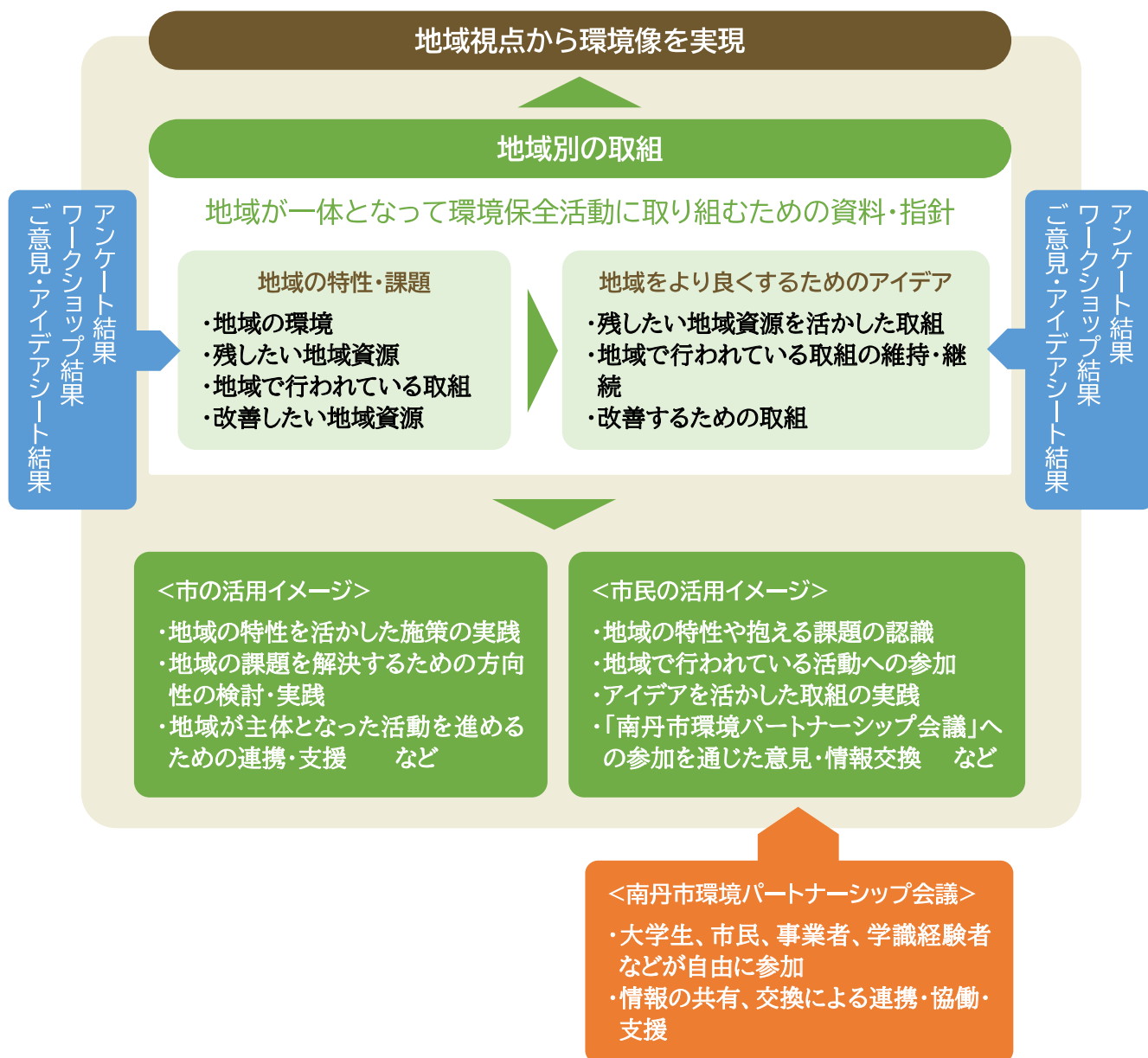


【地域区分】

2 活用イメージ

地域別の取組では、地域の特性や抱える課題、地域をより良くするためのアイデアを示すことで、自分が暮らす地域の魅力や抱える問題を再認識し、地域が一体となって環境保全活動に取り組むための意識づくりや活動するための指針として活用していくことを想定しています。

また、市としては上位計画や関連計画と連携して地域をより良くするための施策を推進するとともに、大学生、市民、事業者、学識経験者により構成される「南丹市環境パートナーシップ会議」の開催を通じて、環境情報や意見交換の場を提供するとともに、必要に応じて連携や市・府が実施する補助事業を紹介するなど、地域が一体となって環境保全活動に取り組むための支援を行います。



3 地域別の取組

園部地域

地域特性

- ・園部地域には四季の移ろいを感じられる府立自然公園「るり溪」の他、園部川や本梅川を始めとする河川や小向山、熊崎や竹井のホタルなど豊かな自然を有しています。
- ・園部城跡や生身天満宮、摩気神社などの歴史的資源も多く分布しています。
- ・市役所をはじめとする公共公益施設が集中している市の中心地域であり、大学や専修学校など教育機関も多く立地しています。



①地域の現状と課題

- ・るり溪は、豊かな自然とふれ合える場所であり、四季の移ろいを感じられる地域の代表的な自然として保全・活用が行われていますが、周辺の空き家・空き店舗による景観の悪化や地域の魅力の低下といった問題が発生しています。
- ・園部川や本梅川などの河川周辺は、ホタルやノウルシなど現在も豊かな自然や生きものが残る場所となっています。また、小向山などの身近な里山は、気軽に登れ、自然とふれ合える場所として市民に親しまれており、これらの身近な自然を適切に保全・再生することが望まれます。
- ・園部城跡や生身天満宮、摩気神社など本市を代表する歴史的資源を多く有しており、地域住民や関係機関などと連携して保存・維持管理を進めることが望まれます。
- ・地域全体で不法投棄や空き家・空き地、ソーラーパネルによる景観の悪化などが問題となっています。

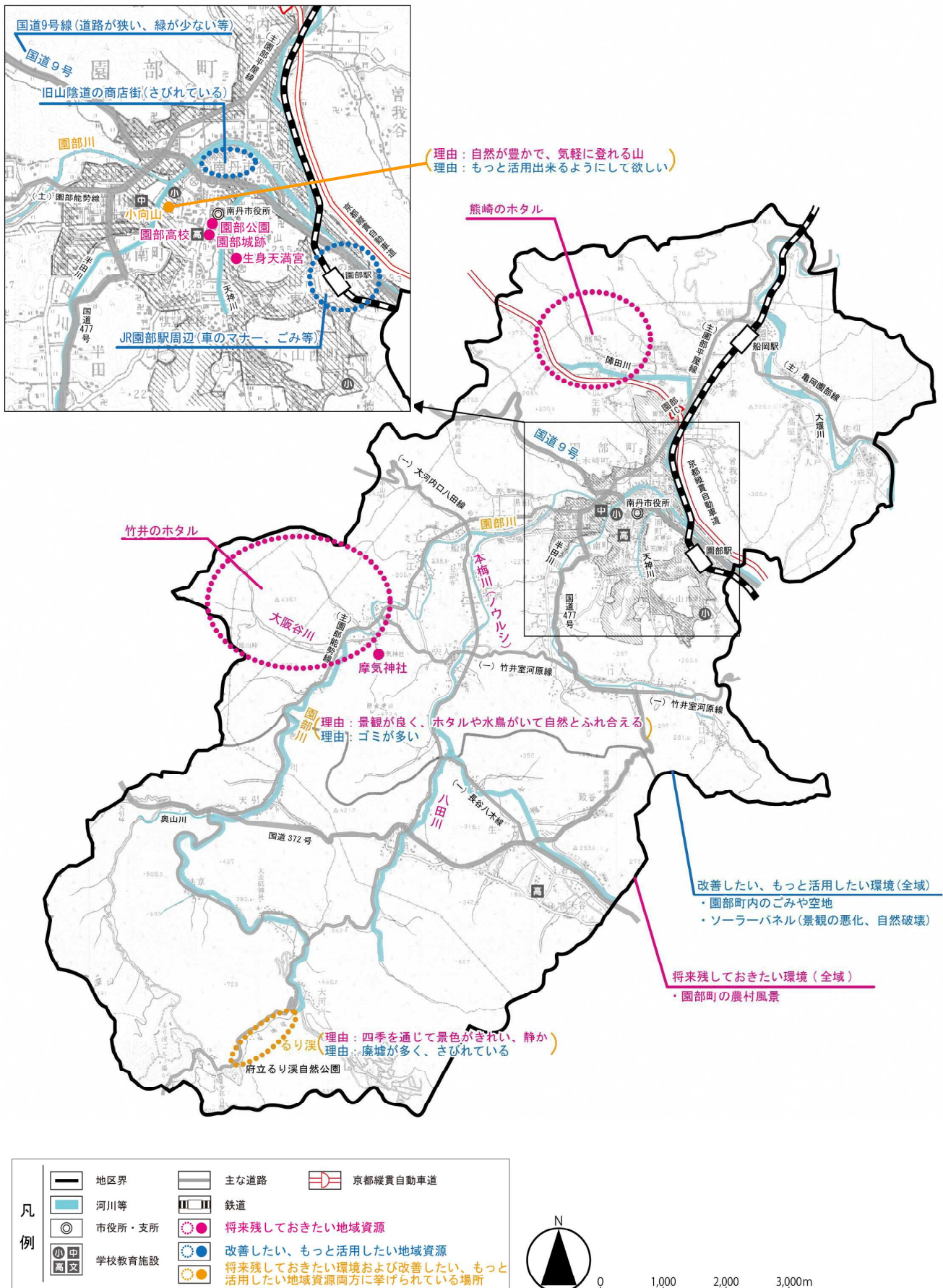
②地域をより良くするためのアイデア

- 空き家・空き店舗の活用。
- 地域外から来る人のために、園部の魅力ある場所を結んだハイキングコースの設定や、見どころマップの作成。
- 教育委員会を活用したボランティアガイドの設置。
- ジビエのブランド化や流通システムの構築。
- 若い人が来やすいように、市がIターンやUターンの仲介。
- 世代によってさまざまな発信方法を使いわけ。
- 楽しみながら環境保全について知る・学ぶ機会となるごみ拾い大会の開催。

など



③環境情報マップ



※②地域をより良くするためのアイデア、③環境情報マップは、令和元(2019)年に実施したアンケート調査、ワークショップおよびご意見・アイデアシートを基に作成しています。

八木地域

地域特性

- ・4地域の中で最も農地の割合が高く、大嘗祭の献上米に選ばれるほどの米所であるとともに畜産も盛んで、家畜排せつ物を活用した液肥・堆肥などの利用が進められています。
- ・八木地域には四季の移ろいを感じられる大堰川や緑地公園、八木運動公園など自然とふれ合える施設を有しています。
- ・氷室の郷や八木バイオエコロジーセンター、浄化センターなど環境について学べる施設が立地しています。



①地域の現状と課題

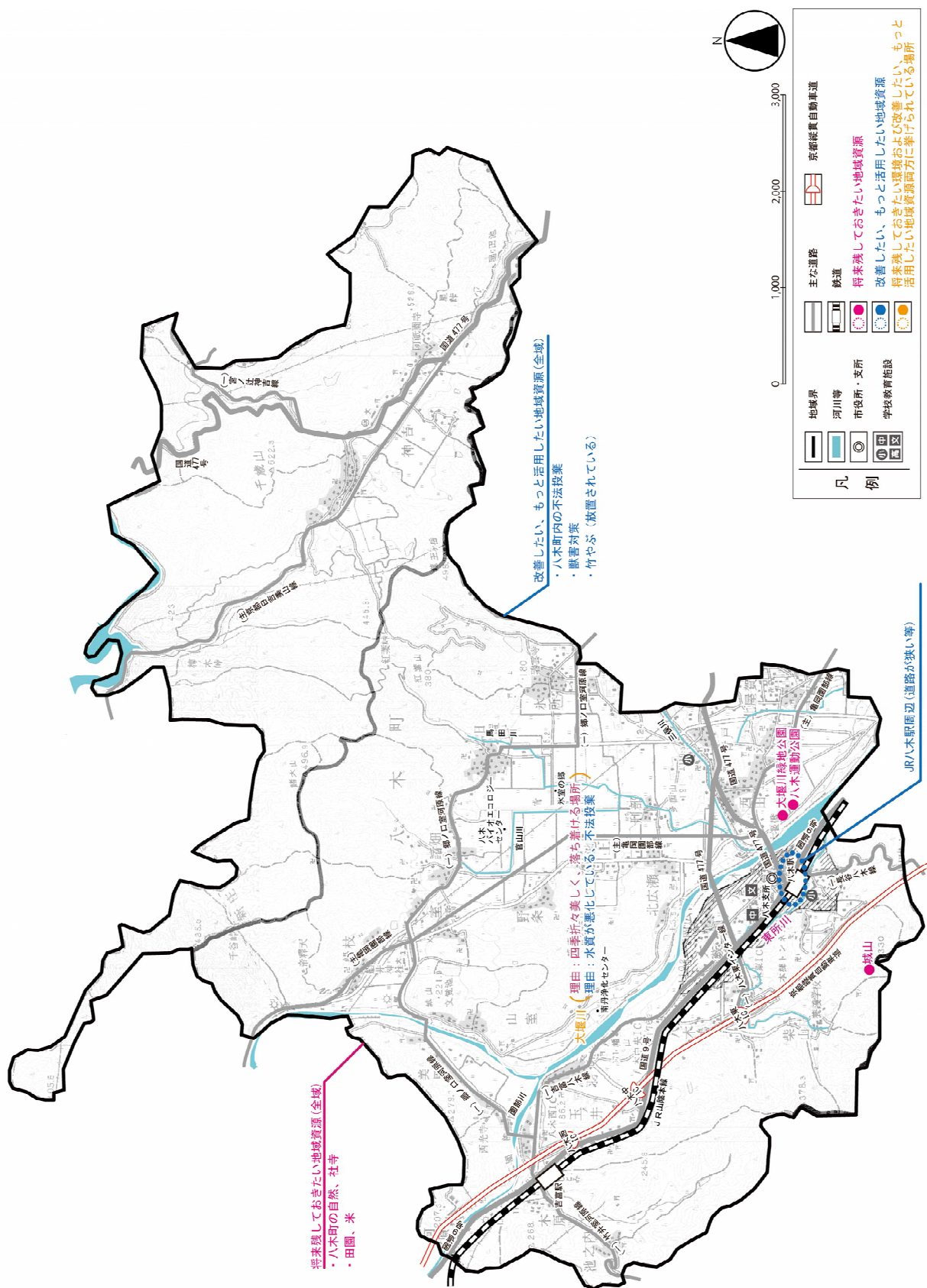
- ・大堰川は、四季折々の自然が感じられ、地域のシンボルとなる自然として市民に親しまれていますが、水質の悪化や不法投棄などが問題となっています。
- ・緑地公園や八木運動公園などは、自然とのふれあいやレクリエーションの場として活用されており、今後も継続して活用していくことが望まれます。
- ・家畜排せつ物由来の堆肥や液肥を活用した農業が行われており、今後も継続して推進するとともに、エコツーリズムや体験型農業の場としての活用が望まれます。
- ・氷室の郷や八木バイオエコロジーセンター、浄化センターなどは、環境や資源循環について学ぶ貴重な場として活用されており、八木地域に留まらず市内外に取組を拡大、普及していくことが望まれます。
- ・地域全体で不法投棄や獣害対策などが問題となっており、これらへの対応が望まれます。

②地域をより良くするためのアイデア

- 美化活動などによる大堰川の保全・再生。
- 氷室の郷や八木バイオエコロジーセンター、浄化センターの活用。
- 観光資源を線をつなぎ、観光客にお金をおとしてもらう仕組みづくり。
- 農家民宿や体験型の民宿を増やす。
- 歴史・文化を知るきっかけづくりとしてご当地検定を実施。
- 都会の人を田舎の人(地元)が受け入れる体制づくり。
- 地域間、既存の組織間の連携(体制づくり)。 など



③環境情報マップ



※②地域をより良くするためのアイデア、③環境情報マップは、令和元(2019)年に実施したアンケート調査、ワークショップおよびご意見・アイデアシートを基に作成しています。

日吉地域

地域特性

- ・京都府の中心に位置することから「京都のへそ」と呼ばれており、林業が盛んな地域です。
- ・日吉地域は日吉ダムやスプリングスひよし、府民の森ひよし(STIHLの森 京都)など自然とふれ合える場所や施設を有しています。
- ・牧山の松明や日吉神社の馬馳け、玉岩地蔵など地域に根づく歴史・文化も多く有しています。
- ・地域の木材を使った建築や間伐材の利用が盛んです。



①地域の現状と課題

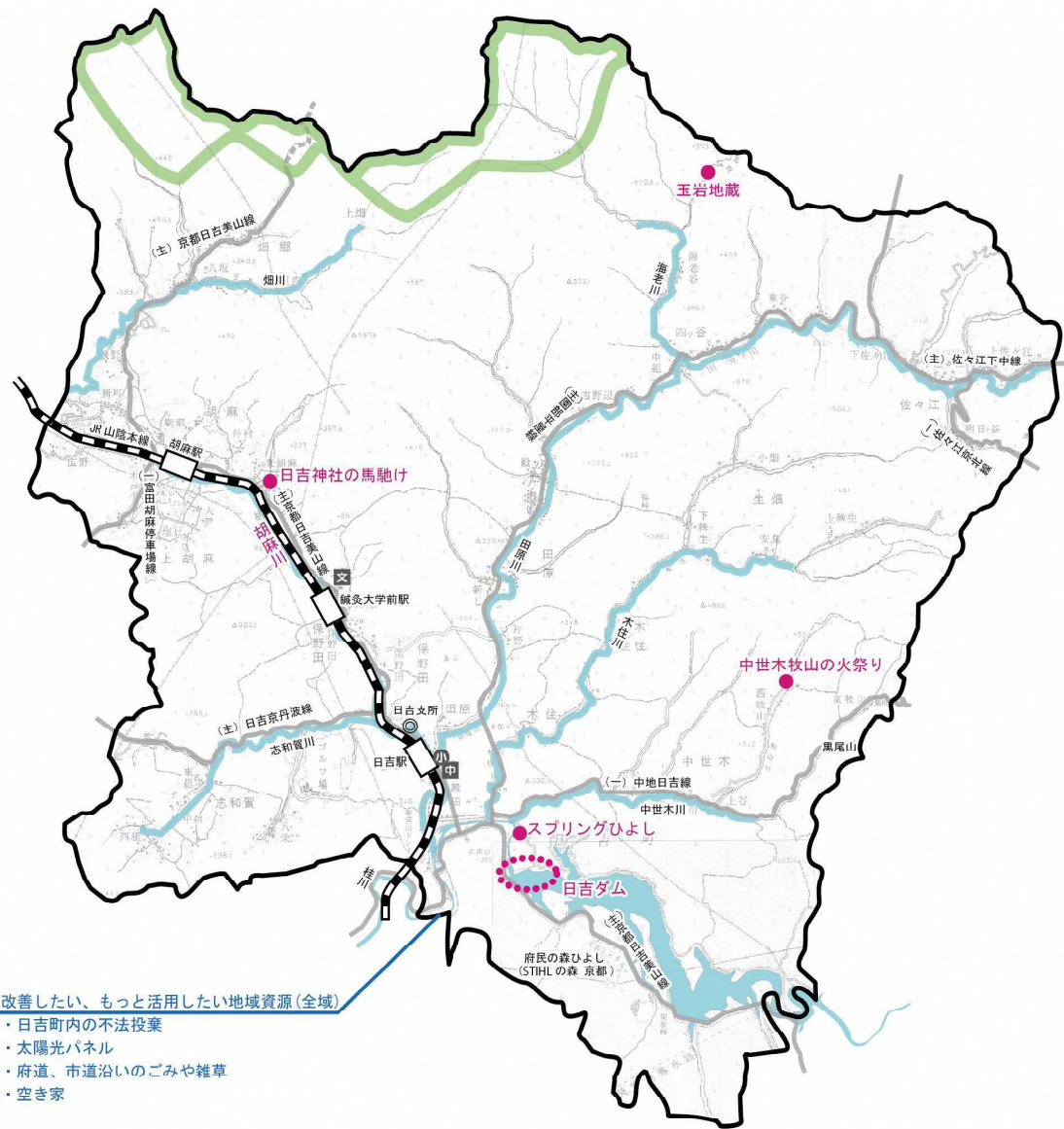
- ・地域の木材を使った建築や間伐材の利用など、木質バイオマスの活用が進められており、今後も豊かな森林資源の保全・活用が望まれます。
- ・スプリングスひよしや府民の森ひよし(STIHLの森 京都)は、豊かな自然とふれあい、体験できる場として活用を進めることが望まれます。
- ・中世木のセツブンソウやレッドデータブックにも載っている丸山など、地域の貴重な自然の保全・維持管理が行われており、今後も継続して保全していくことが望まれます。
- ・地域住民が中心となって、地域の貴重な自然や歴史的資源を紹介するパンフレットを作成しており、地域内外へ魅力を発信していくことが望まれます。
- ・牧山の松明や日吉神社の馬馳け、玉岩地蔵など地域に根づく歴史的資源を多く有しており、地域住民や関係機関などと連携して保存・維持管理を進めることが望まれます。
- ・地域全体で不法投棄や空き家・空き地、ソーラーパネルによる景観の悪化などが問題となっています。

②地域をより良くするための市民のアイデア

- 地域の木質バイオマス活用拡大に向けた仕組みづくり。
- 空き家・空き店舗の活用。
- ポイ捨て防止に向けた看板や監視カメラの設置。
- ジビエの普及に向けて新しいポスターの作成や宣伝。
- 地域の歴史文化を守るため、高齢者に伝承を聞き、郷土史などに残していく。
- 有償ボランティアの活用。
- 地域のコミュニケーションの場づくり(協力体制構築)。 など



③環境情報マップ



※②地域をより良くするためのアイデア、③環境情報マップは、令和元(2019)年に実施したアンケート調査、ワークショップおよびご意見・アイデアシートを基に作成しています。

美山地域

地域特性

- ・美山地域は「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された美山町北集落、由良川の源流となる清流、芦生原生林など、貴重な自然や歴史・文化を有する観光地となっています。
- ・優れた景観を守るため、開発行為の抑制や水質保全、景観との調和に配慮した建築物の建築・工作物の建設に努めるなどの様々な取組を行っています。
- ・芦生原生林やかやぶきの里など、地域の優れた環境資源を活用したエコツーリズムを行っています。



①地域の現状と課題

- ・芦生原生林は、人の手が加えられていない貴重な植生として、京都大学や地域住民が中心となって保全・活用が行われており、今後も貴重な自然とふれ合える場として保全・活用することが望まれます。
- ・美山川、内久保のベニバナヤマシャクヤク、唐戸溪谷など、地域の貴重な自然の保全・維持管理が行われており、今後も継続して保全していくことが望まれます。
- ・「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されているかやぶきの里では、市と地域住民が連携してかやぶき民家の保存・継承が行われており、今後も地域のシンボルとなる文化として適切に保存・活用していくことが望まれます。
- ・芦生原生林やかやぶきの里などは、エコツーリズムの場として活用されており、取組の拡充や市内外へ魅力を発信していくことが望まれます。
- ・地域全体で不法投棄や里山・田んぼの荒廃、イノシシやシカなどによる農林産物への被害が問題となっています。

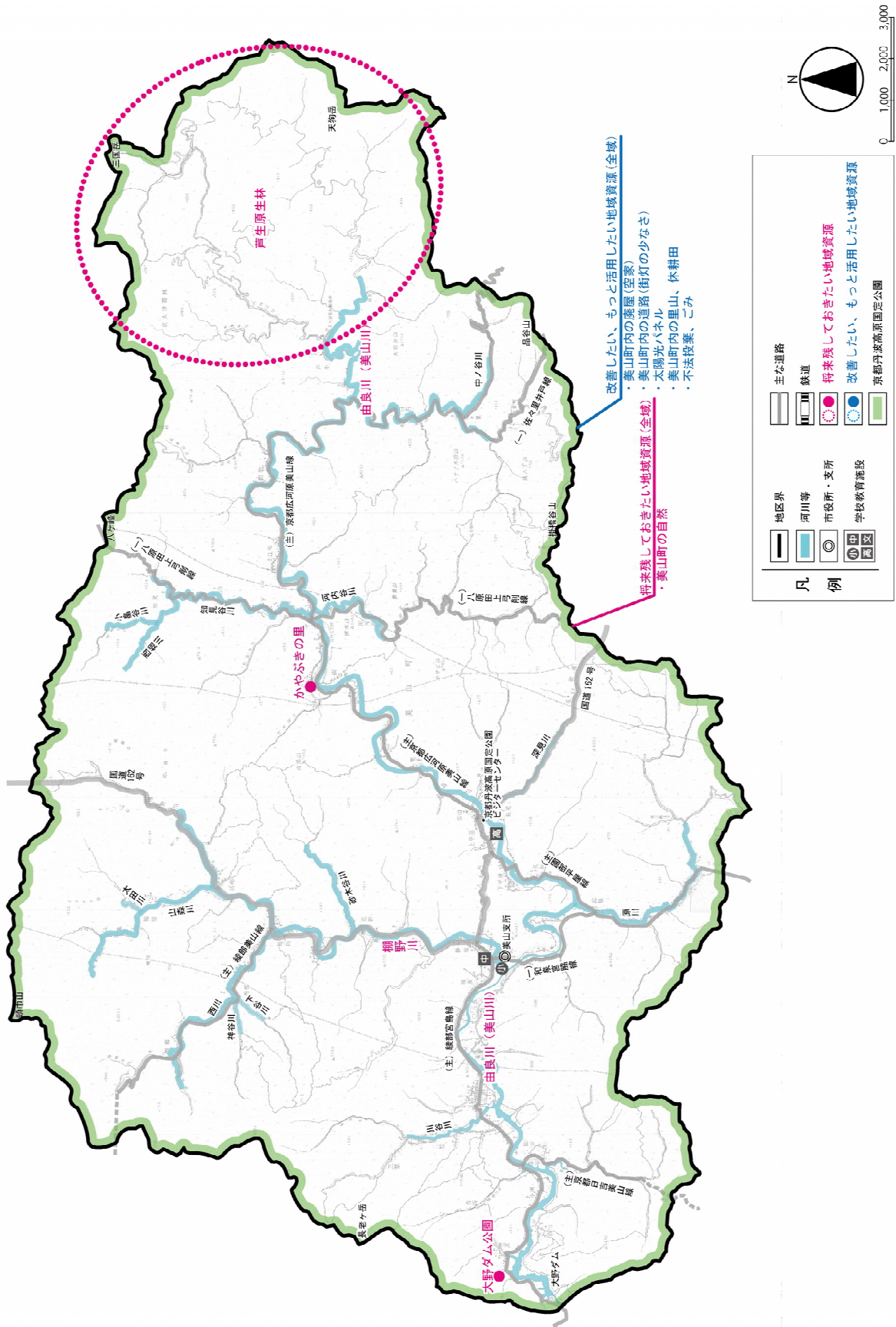
②地域をより良くするための市民のアイデア

- 芦生原生林を始めとする貴重な自然の保全・活用。
- かやぶき民家の保存・活用。
- 木質バイオマスの活用を地域外に広げる仕組みづくり。
- イノシシやシカなど捕獲した有害鳥獣の活用。
- ポイ捨て防止に向けた監視カメラの設置。
- 地域の歴史文化を守るため、高齢者に伝承を聞き、郷土史などに残していく。
- 大学生との交流などを活用して環境保全に携わる人材を確保。
- 子どものうちから環境に対して意識を持ってもらうような教育の実践。

など



③環境情報マップ



※②地域をより良くするためのアイデア、③環境情報マップは、令和元(2019)年に実施したアンケート調査、ワークショップおよびご意見・アイデアシートを基に作成しています。